



2022年(令和4年)8月29日(月) NO 173号

K-PURO NEWS





【事業所】

- ◆ 商号 株式会社 ケイプロ <https://k-puro.co.jp>
- ◆ 屋号 都市防犯プランニング社 mail info@k-puro.co.jp
- ◆ 本社 埼玉県蕨市中央1-7-1 シティタワー蕨 TEL 048-446-9445
- ◆ 千葉支店 千葉県千葉市中央区新町1-20 江澤ビル TEL 043-243-6110

【業務内容】

-  機械警備 弊社のセキュリティプランに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
-  防犯カメラ 周辺環境・建物構造・人的要因を分析し、用途に沿ったカメラ選別と設置
- メンテナンス 消防設備点検・消防設備工事の消防関連事業および AED 斡旋の管理業務

【加盟団体】

-  RID2770 川口モーニングロータリークラブ <https://kawaguchi-morning.jp/>
-  NPO 法人 さいたま起業家協議会 <https://saitama-kk.org/>
-  公益社団法人 千葉東法人会 <https://www.chibahojin.jp/>
-  公益財団法人 モラロジー道徳教育財団 <https://www.moralogy.jp/>

【応援団体企業】



近藤美恵子経営コンサルティング事務所

今月の言葉

人生の先輩の歩みを思う



先輩世代の歩みを思うと、戦争や災害に見舞われたり、物資が不足したりと、時代に応じてさまざまな苦労があったことでしょう。

それでも先輩世代は自らの人生を力強く生き抜いて、次の世代を生み育てつつ、より良い社会を築くために努力を重ねてきたのです。

今、私たちが身近に接することのできる両親や祖父母、地域のお年寄り、そうした先輩世代の代表です。

その人たちとのふれあいを通じて、いのちの存続と社会の発展のために尽くしてきた先人に対する「敬老」の精神を培うことが大切ではないでしょうか。

今月の良い話

デザイナーは日々新なり

私が手掛けてきた「洋服」という存在は西洋の暮らしの伝統の中で育まれてきたものから、ライフスタイルの違う日本の暮らしに合う洋服をつくるということは最初はなかなか難しかったですね。

.....

父は島根で開業医をしていました。

なかなかセンスのいい人だったといまは感じています。母は料理が上手で、子どもたちをかわいがる人でした。私は5人きょうだいの下から2番めで、男が2人で女が3人。

当時ですから、家の中では男が大事にされていました。

一番上の兄が東大の医学部に入ったので父はとても喜びましたね。

二男も東京の高等学校に入れたいといって、田舎から東京へ大工を送って家を建てさせたんです。

.....

一方、女は女らしく育てたいということで、今度は姉が跡見女学校に入れられました。

3人が東京で、私と妹が島根に残りました。

母は行ったり来たりしていましたが、幼い娘2人に母親不在のような形では不憫だと思ったのでしょうか。

小学校4年生の時、私たち2人も上京しました。

いまでは小学校4年生まででも田舎で育ったことは、とてもよかったと思っています。



外からの刺激がないから、割とピュアに育っていきましたね。

水もきれいでしたし、緑もたくさんあって、何より四季の移り変わりが素晴らしかった。蝶はハナエ・モリデザインの象徴と言われますが、美しい蝶を描けるのも、子どもの頃、田舎でたくさんの蝶を見てきたからだと思っています。

.....

女学校の時、校長先生が「日々新」という言葉を教えてくださいました。

その時はなんか野暮ったい言葉のように感じましたが、いまはとても大事にしています。ファッションデザイナーという職業は、少しばかり時代を先取りしながらつくっていく仕事ですからね。また、もちろん仕事もそうですが、精神面でも毎日をリフレッシュしながら自分を探すという意味で、いい言葉だと思うようになりました。

確かに時代を先取りする仕事ですが、あまり先取りしすぎてもダメなんです。

人間がどんなふう生きていくかということ、少しばかり先取りして形にする。

だから本当に「日々新」な仕事です。

////////////////////////////////////

森 英恵 (ファッションデザイナー)

記事提供 致知出版社

* 森英恵さんは本年8月11日96歳でご逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げます。

今月の良い話

運の強い人の共通点

私は長年、能力開発の仕事に携わってきましたが、すべからく成功者、一流といわれる人たちは運やツキを持っています。

ただ、私は「運」と「ツキ」は異なるものだと思っているんです。

「ツキ」というのは、チャンスを掴む能力ではないかなと。

思いがけないラッキーが訪れて、それを活かした時に「ツイていた」という言葉を使うと思います。



しかし例えば一代で会社を起し、成功された方などは「自分がここまでこれたのは、ツイていたからだ」とは言いませんよね。

「自分には運があったからだ」と言うと思うんです。それはなぜか。これは若い頃に人生の師から教わったことなのですが、

「苦しみを克服した人にしか“運”はないんだ」と。

一代で大きなことを成し遂げた人は、自分の努力ではどうしようもない様々な逆境、ピンチを潜り抜けてきています。その時、初めて「運」というものを体感するのだと思うのです。だから、会社を急成長させた若い経営者の方などを見て、「この人はツイているかもしれないけれど、運はないかもしれない」と感じたりすることもあるんです。

さらに、これも同じ師から言われて印象に残ったことですが、

「本当の苦しみというのは人生に3回しかない」と言うんです。

1回目は生まれてくる時。記憶には残りませんが、人は産道を潜り抜けるという大変なことを乗り越えて生まれてくるわけですから、誰しも皆運があると。

もう一回は死ぬ時です。

自分の意思とは関係なく、死は訪れ、息を引き取ります。これは大変な苦しみですよ。

そうすると、人生で本当に苦しむことはあと1回しかない。

それなのに多くの人は、10番目か20番目か、あるいは100番目の苦しみに出遭って大騒ぎしている。

いま苦しんでいることは、自分の人生で何番目の苦しみなのか考えろと、20代前半で教わりました。

だから僕も苦しいことはありましたが、その苦を楽しんで生きてきました。

振り返ってみると、ツイていましたが、まだ運を感じるほどの苦はなかったかもしれないなと思います。

////////////////////////////////////

西田 文郎 (サンリ会長)

記事提供 致知出版社

事件ファイル NO173

猛暑時の車内放置モバイルバッテリーの危険性



写真の撮影は昨年 8 月。
モバイルバッテリーは、主にスマホ用に使用していた。
スーパーの駐車場に車を止め、30 分から 1 時間ほど買い物をしたのち車に戻る。
「車内が真っ白の煙でいっぱい、中が全く見えませんでした。おそろおそろドアをあけると助手席が焦げていました。」
周囲には煙のにおいが充満していた。
幸いけが人はおらず、近くの車にも影響はなかった。
消防と警察に事情を説明した後、修理工場へ。
ただし、炎は天井も焼いていて廃車となった。

消費者庁によると、モバイルバッテリーの多くにリチウムイオン電池が使われている。リチウムイオン電池は、軽くて大きな電力を得られるが、電池の内部が変形すると、発煙や発火につながる恐れがある。
ポケットの中で押されたり、炎天下の車内に放置されたりすることで内部が変形、破損するリスクがあることから、「『衝撃』『圧力』『熱』には特に注意してください」と呼びかけている。最低限、直射日光の当たらない場所へ。

プロ太の小話集

NO173

「婚約指輪」

みつるが婚約指輪を買いにいった

みつる 「名前を彫って欲しいんだ」

宝石商 「どのようにお彫りしましょう？」

宝石商が尋ねると、

みつる 「そうだな、『純子へ愛を込めて みつるより』と彫ってくれ」

すると、宝石商は慣れた感じで言った

宝石商 「悪いことは申しません、『みつるより愛を込めて』とだけになさいます」



////////////////////
今月の表紙の花 : エゾギク「追憶」

普段何気なく使用している道路や鉄道、航空施設、上下水道や通信回線網などのインフラ。近年では、医療の進歩をはじめ、車のナビゲーション、携帯電話からスマホへ代わりとても便利な世の中になっています。

これらの土台を作り上げてこられたのが先代の方々です。

9月19日は敬老の日。

現在の先輩世代のお年寄りを大切にすると同様に、その前の先代の方々が築き上げた多大な功労に対し、私たちは感謝する気持ちを決して忘れてはならないと思います。

注：プロ太とは、写真のK-PURO 番犬です (体長 10メートル・体重 1トン・無敵無敗)